

飯田地区人口

人 口	1,695(-5)
男 性	853(-1)
女 性	842(-4)
世帯数	805(+1)

令和 3年 12月末時点

高原の風



あけましておめでとうございます



皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は公民館活動にご協力いただきありがとうございました。

さて、今年は寅年ですね！トラといえはなんだか力強く、他を圧倒するようなイメージがあります。まだまだ落ち着くことのないコロナウィルスも、トラを恐れて、さっさと退散してほしいものです！

そして、昨年末に飯田高原文化祭の実行委員会を行い、今年度の開催について協議をした結果、令和4年3月13日（日）に開催することが決定しました。2年ぶりの開催となりますが、皆様の協力を得て、素敵な文化祭になればと思っています。

本年もどうぞ飯田公民館をよろしくお願い致します。

飯田こども園に



サンタクロースがやってきました！

飯田子ども園の園児たちの願いが通じたのか、クリスマスより少し早い、12月22日（水）にサンタがこども園にやってきました。

児童のみんなはおおはしゃぎでサンタを迎え、それぞれプレゼントを貰いました。「サンタの服はなんで赤いの？」「トナカイさんはどうしたの？」などの素朴な質問にサンタはたじたじ（笑）

来年も園児の笑顔を見に、きっとサンタはくるよ！
メリークリスマス♪

～融雪剤（塩化カルシウム）の交付について～
その2

※先月もお知らせいたしましたが、取りに来られる方が少ないので再度ご案内いたします。

飯田公民館では各行政区を対象として、町道などに散布する融雪剤（塩化カルシウム）の交付を今年も受け付けております。融雪剤が必要な行政区がございましたら、区長印をお持ちのうえ、飯田公民館までお越しください。なお、交付できる数は在庫状況により、変動・もしくは交付できないこともありますので、ご了承ください。

こんにちは

飯田まち協

です

1月26日は、第68回「文化財防火デー」です

昭和24年（1949年）1月26日、法隆寺金堂（奈良県生駒郡）から出火した火災によって、1300年の歴史を持ち、世界的な至宝といわれた金堂の壁十二面に描かれた仏画の大半が焼損しました。

このような被害から**文化財**を守るとともに、国民一般の**文化財愛護**に関する意識の高揚を図るため、昭和30年に消防庁と文化庁の共同主唱のもと、法隆寺金堂が焼損した日である1月26日を「**文化財防火デー**」と定めて、**文化財防火運動**が全国で展開されています。

あなたも是非この機会に、文化財愛護や防火・防災について改めて考えてみませんか。



伝説・朝日長者物語について

飯田地区には、「千三百年前すであつた話、それを種に次々フィクションを重ねて、出来たものであろうが、ちなんだ地名や風物などからして、全部が全部フィクションであるとして片付けられない、何ものかを内蔵している、驚くほどスケールの大きい不思議な**伝説**」(赤峰武氏)
朝日長者伝説があります。

なかでも**七不思議**といわれるのは、①青梅〔長者梅〕②青蓼（たで）③念仏水 ④殺生石 ⑤不断鶴 ⑥音無川 ⑦鳴川〔鳴子川〕ですが飯田地区まちづくり協議会では平成26年9月28日に「**朝日長者伝説をめぐる会**」（写真）として約40名の方が**七不思議めぐり**をしていますので、ご存知の方も多いかと思います。

ではそのほかに**伝説**に関わる**地名**や**風物**は
どんなものがあるでしょうか。

- ①千町無田②長者館跡③年の神④白鳥神社
⑤朝日神社⑥浄水寺⑦朝日山稲守寺⑧男池

⑨なすび畠⑩じょうろ石⑪強嶋山⑫地獄窪
⑬御所の池⑭白水川⑮泉水山⑯なきなが原
⑰姫の墓⑱扇山⑲お塔が原⑳鏡石 などが
あります。皆さんは、いくつご存知でしょうか。

今後、飯田地区まちづくり協議会では、**伝説**ゆかりの箇所を調査して、皆さんと一緒に探訪したいと思っています。



クロノス と カイロス

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」という。行事が多く、あっという間に時間が過ぎる季節。壁掛けカレンダーをめくる日も間近となり、その言葉が身に染みる。去年の手帳を開いてみた。一年前の今の時期は取り消し線だらけ。コロナ禍によって次々と予定が中止となったからである。友人たちと当時を振り返ると、暇になって困ったという人もいれば、仕事の対応でむしろ多忙を極めた人もいて、状況はさまざまだ。

文豪ゲーテの詩に「わが時を短くするものは何ぞ **活動** 堪えがたく時を長くするものは何ぞ **怠惰**」(小牧健夫訳)とある。

時の概念には、**クロノス**（時計が刻む時）と**カイロス**（精神的な時）があり、ゲーテは後者を重視した。ただ忙しければ良いわけではない。「今」という瞬間を真剣に生きる中に、真の充実と幸福があるとの洞察だろう。（新聞記事より）

大切なのは、**刻々と流れる時間を何のために
どう価値的に使うか** ですね。